

| 第46期 (2021年12月20日) | |
|----------------------------------|---------|
| 基準価額 | 14,028円 |
| 純資産総額 | 720百万円 |
| 第46期 (2021年6月22日～2021年12月20日) | |
| 騰落率 | -2.5% |
| 分配金合計 | 0円 |

ピクテ・ ヨーロッパ・オープン

追加型投信／海外／株式

第46期 (決算日2021年12月20日)

作成対象期間：2021年6月22日～2021年12月20日

受益者のみなさまへ

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記の弊社ホームページを開き「ファンド」より当ファンドの名称を選択いただき、さらに「運用報告書（全体版）」を選択いただきますと運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。

○書面での運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、「ピクテ・ヨーロッパ・オープン」は、このたび、第46期の決算を行いました。当ファンドは、主に欧州主要国の株式に投資し、信託財産の成長を図ることを目的としております。当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

ピクテ投信投資顧問株式会社

東京都千代田区丸の内2-2-1

お問い合わせ窓口

投資信託営業部

電話番号 03-3212-1805

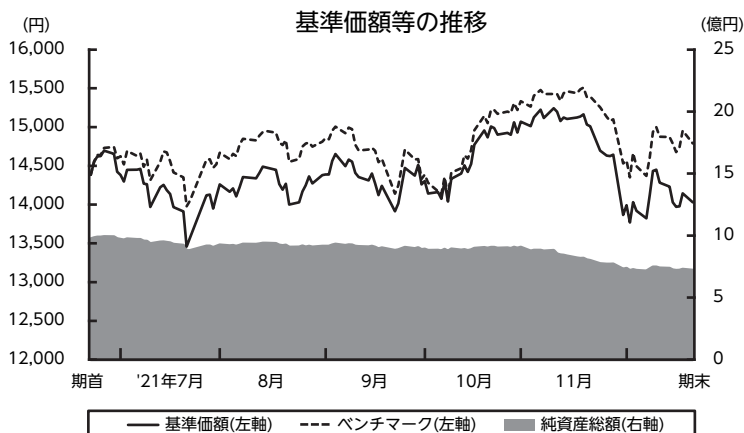
受付時間：委託者の営業日の午前9時から午後5時まで

ホームページ：www.pictet.co.jp

40
Years in Japan

運用経過

基準価額等の推移



第46期首 : 14,384円
第46期末 : 14,028円
(既払分配金 : 0円)
騰落率 : -2.5%

※ベンチマークはMSCI欧州株価指数を委託者が円換算したものであり、期首の基準価額に合わせて指数化しています。

MSCI欧州株価指数は、MSCI Inc.が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

基準価額の主な変動要因

- 下落↓ ・円に対してユーロや英ポンドなどが下落したこと
- 下落↓ ・実質的に組入れている株式の価格が下落したこと

1万口当たりの費用明細

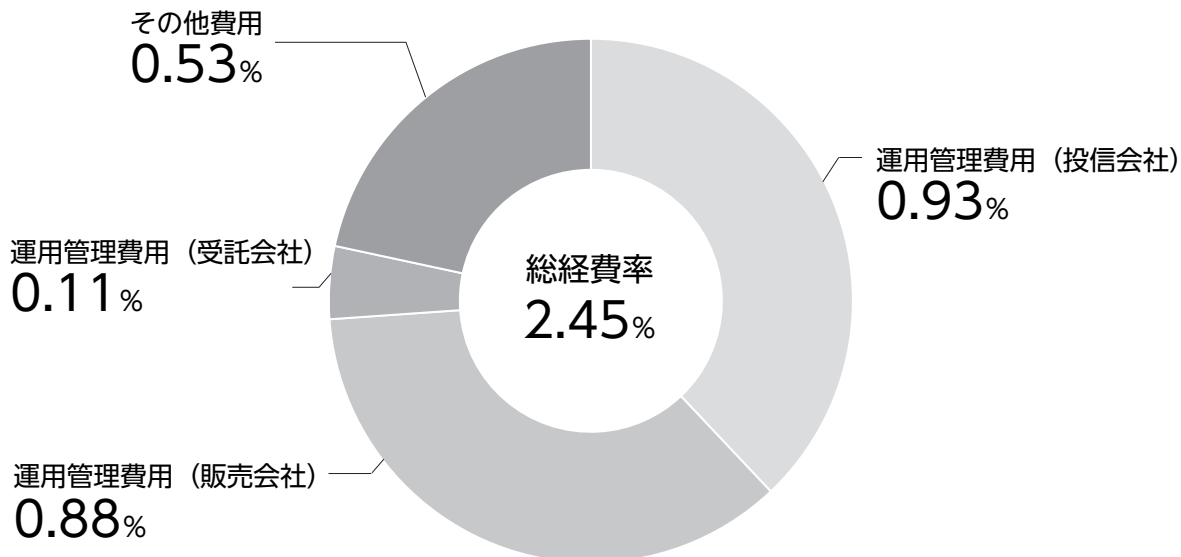
| 項目 | 当期 (2021年6月22日~2021年12月20日) | | 項目の概要 |
|-----------------------|--------------------------------|-------------------|---|
| | 金額 | 比率 | |
| 平均基準価額 | 14,399円 | — | 期中の平均基準価額（月末値の平均値）です。 |
| (a) 信託報酬 (投信会社) | 138円 (67) | 0.960% (0.466) | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ・ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、各種情報提供等、基準価額の算出等の対価 ・購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続等の対価 ・ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価 |
| (販売会社) | (63) | (0.439) | |
| (受託会社) | (8) | (0.055) | |
| (b) 売買委託手数料 (株式会社) | 1 (1) | 0.007 (0.007) | (b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ・売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (c) 有価証券取引税 (株式会社) | 1 (1) | 0.010 (0.010) | (c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ・有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| (d) その他費用 (保管費用) | 38 (9) | 0.264 (0.066) | (d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・その他は、信託事務の処理に要する諸費用 |
| (監査費用) | (3) | (0.021) | |
| (その他) | (25) | (0.177) | |
| 合計 | 178 | 1.241 | |

- ・上記の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、設定・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- ・各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、各項目毎に小数第3位未満は四捨五入しています。
- ・売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- ・各項目の費用は、マザーファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。
- ・各金額の円未満は四捨五入しています。

(参考情報)

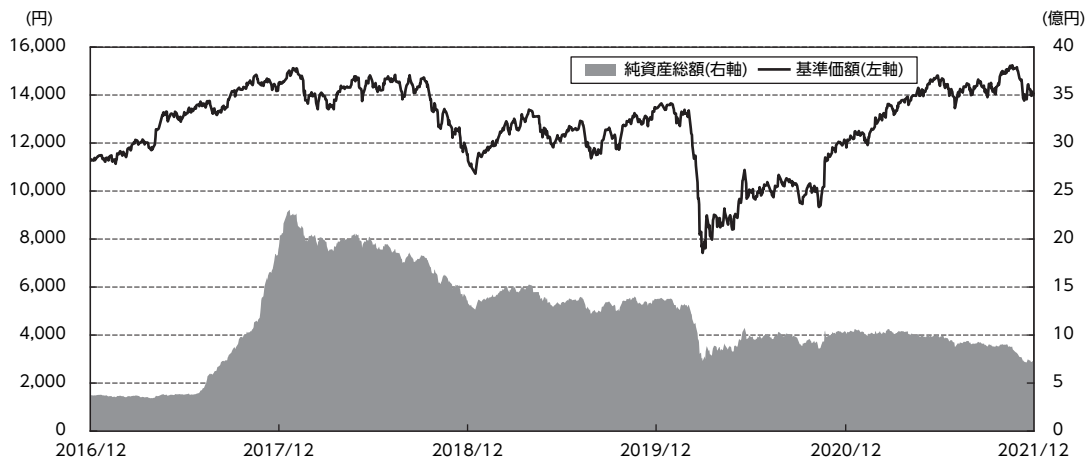
■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.45%**です。



- ・上記の費用は、「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したものです。
- ・各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
- ・各比率は、年率換算した値です。
- ・上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移 (2016/12/20～2021/12/20)



| 決算日 | 2016/12/20 | 2017/12/20 | 2018/12/20 | 2019/12/20 | 2020/12/21 | 2021/12/20 |
|-----------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 基準価額 (円) | 11,228 | 14,515 | 11,536 | 13,443 | 12,067 | 14,028 |
| 期間分配金合計 (税引前、円) | — | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 基準価額騰落率 | — | 29.28% | -20.52% | 16.53% | -10.24% | 16.25% |
| ベンチマーク騰落率 | — | 18.17% | -15.68% | 14.16% | -2.07% | 21.24% |
| 差異 | — | 11.11% | -4.85% | 2.37% | -8.16% | -4.99% |
| 純資産総額 (百万円) | 371 | 1,920 | 1,362 | 1,372 | 1,033 | 720 |

投資環境

- ・欧州株式市場は、期首から8月にかけて、欧州中央銀行（ECB）が当面の緩和的金融政策を維持する方針を示したことなどが好感され上昇しました。9月には中国不動産開発大手の債務不履行（デフォルト）などに対する懸念から下落する局面もみられましたが、10月から11月中旬にかけて発表された企業決算が概ね良好な内容だったことから堅調な展開となりました。その後は、新型コロナウイルスのオミクロン株の出現に伴って経済の先行き不透明感が高まり株価は大きく調整し、期末にかけても不安定な展開が継続しましたが、期を通じてみれば欧州株式市場は上昇しました。
- ・為替市場では、期首から8月中旬にかけて、新型コロナウイルスのデルタ株の感染拡大への懸念が高まったことや、ECBが戦略検証で物価目標を「2%未満でその近辺」から「2%」に変え、物価が基調として本格的に上がるまで、金融緩和を維持する姿勢を示したことなどを背景にユーロ安・円高となりました。8月下旬から10月中旬にかけては、ユーロ圏の9月のPMI景況感指数が回復ペースは減速するも依然高水準であったことや、ユーロ圏のインフレ懸念を背景にECBが利上げ時期を前倒しするとの観測が強まり、円安・ユーロ高が進行しました。その後は、ECB政策理事会後の会見でラガルド総裁がインフレ懸念は一時的と説明したことや欧州の金利が低下したこと、新型コロナウイルスのオミクロン株に対する警戒感が強まったことなどから、ユーロ安・円高が進行しました。期を通じてみれば、円に対してユーロは下落しました。

当該投資信託のポートフォリオ

当ファンドが主要投資対象とするピクテ・ヨーロッパ・オープン・マザーファンド受益証券への投資比率を高位に維持してまいりました。実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行いませんでした。

<ピクテ・ヨーロッパ・オープン・マザーファンド>

欧州主要国の株式に投資を行いました。

◇国別組入比率（当期末）

| 国名 | 組入比率 |
|--------|-------|
| 英国 | 25.1% |
| スイス | 18.9% |
| フランス | 18.5% |
| オランダ | 15.0% |
| ドイツ | 6.9% |
| イタリア | 6.9% |
| ベルギー | 3.1% |
| スペイン | 2.8% |
| スウェーデン | 2.5% |

◇業種別組入比率（当期末）

| 業種名 | 組入比率 |
|----------------|-------|
| 金融 | 21.0% |
| 資本財・サービス | 19.9% |
| 一般消費財・サービス | 19.0% |
| 情報技術 | 11.0% |
| 生活必需品 | 10.3% |
| コミュニケーション・サービス | 8.2% |
| ヘルスケア | 5.0% |
| エネルギー | 3.2% |
| 公益事業 | 2.1% |

・組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。業種はGICS（世界産業分類基準）のセクターに基づき表示しています。

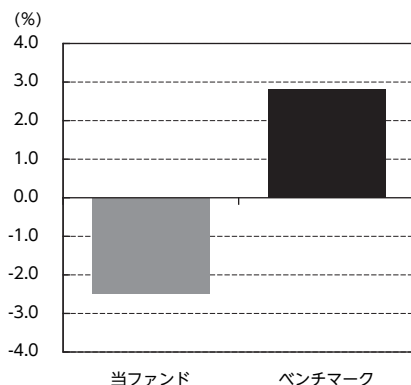
◇組入上位10銘柄（当期末）

| 銘柄名 | 国名 | 業種名 | 組入比率 |
|---------------|------|----------------|------|
| ネスレ | スイス | 食品 | 7.1% |
| ASMLホールディング | オランダ | 半導体・半導体製造装置 | 4.4% |
| SAP | ドイツ | ソフトウェア | 4.1% |
| インフォーマ | 英国 | メディア | 4.1% |
| フィナンシエル・リシュモン | スイス | 繊維・アパレル・贅沢品 | 3.8% |
| グラクソ・スミスクライン | 英国 | 医薬品 | 3.8% |
| ジュリアス・ベア・グループ | スイス | 資本市場 | 3.7% |
| プロサス | オランダ | インターネット販売・通信販売 | 3.4% |
| エシロールルックスオティカ | フランス | 繊維・アパレル・贅沢品 | 3.4% |
| ロイヤル・ダッチ・シェル | 英国 | 石油・ガス・消耗燃料 | 3.2% |

・組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。業種はGICS（世界産業分類基準）の産業に基づき表示しています。

当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドとベンチマークの騰落率の対比



- ・当期の基準価額は2.5%の下落となり、ベンチマークの上昇率2.8%を下回りました。
- ・当期間において大きく下落したワールド・ライン（フランス、ソフトウェア・サービス）やサガ（英国、保険）などをベンチマークに対してオーバーウェイト（ベンチマークより高い投資比率）としていたことなどがマイナス要因として寄与しました。

分配金

当期の収益分配は見送りとさせていただきます。

なお、留保益については、元本部分と同一の運用を行います。

◆分配原資の内訳

(単位：円・%、1万口当たり、税引前)

| 項目 | 第46期 |
|-----------|--------------------------------|
| | 自 2021年 6月22日 至 2021年12月20日 |
| 当期分配金 | — |
| (対基準価額比率) | — |
| 当期の収益 | — |
| 当期の収益以外 | — |
| 翌期繰越分配対象額 | 10,417 |

- ・対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、当ファンドの収益率とは異なります。
- ・「当期の収益」および「当期の収益以外」は小数点以下を切捨てて表示しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(1) 投資環境

経済の正常化へ向かって景気回復が継続していますが、新たに発生した新型コロナウイルスのオミクロン株による世界経済への潜在的な影響について、投資家は不安を感じています。また、サプライチェーン問題は継続しており、世界的なインフレは続いています。インフレを沈静化させるため米国は想定よりも早く利上げに踏み切る可能性があるのと懸念が、株式市場の重荷となっています。加えて、これまで株式市場の上昇が続いていたため、保有する銘柄の多くが過去の株価水準と比較して割高な水準にあり、上昇の余地が乏しくなっていることについても警戒しています。

(2) 投資方針

マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として欧州主要国の株式に投資します。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行わない方針です。

<マザーファンド>

欧州主要国の株式に投資を行ってまいります。当運用では今後起こりうる市場イベントを予測するのではなく、キャッシュフローの生成能力に優れ、長期的に有益な投資案件を有し、割安な水準で取引されている優良銘柄を発掘する方針です。

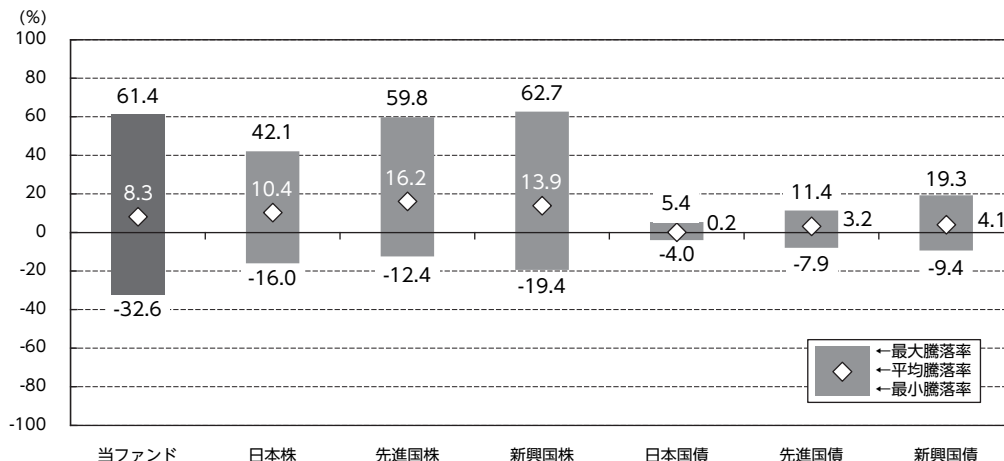
お知らせ

ピクテ投信投資顧問株式会社は、2022年7月1日付けで、商号を「ピクテ・ジャパン株式会社」に変更します。

当該投資信託の概要

| | | |
|--------|--|--|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／株式 | |
| 信託期間 | 1998年12月30日（当初設定日）から無期限です。 | |
| 運用方針 | 信託財産の成長を図ることを目標として積極的な運用を行います。 | |
| 主要投資対象 | 当ファンド | ピクテ・ヨーロッパ・オープン・マザーファンド受益証券 |
| | マザーファンド | 欧州の主要国の株式 |
| 運用方法 | ①マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として欧州の主要国の株式に投資します。 ②MSCI欧州株価指数（円ベース）をベンチマークとします。 ③実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 | |
| 主な投資制限 | 当ファンド | ①株式への実質投資割合には制限を設けません。 ②同一銘柄の株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ③外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 |
| | マザーファンド | ①株式への投資割合には制限を設けません。 ②同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ③外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 |
| 分配方針 | 毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、基準価額の水準等を勘案して委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。 ③留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。 | |

代表的な資産クラスとの騰落率の比較 (2016年12月末～2021年11月末)



○上記グラフは、対象期間中の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものであり、当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。各資産クラスについては以下の指数に基づき計算しております。

○各資産クラスの指標

- 日本株 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
- 先進国株 MSCIコクサイ指数 (税引前配当込み、円換算)
- 新興国株 MSCIエマージング・マーケット指数 (税引前配当込み、円換算)
- 日本国債 NOMURA-BPI国債
- 先進国債 FTSE世界国債指数 (除く日本、円換算)
- 新興国債 JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円換算)

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジをしない投資を想定して、ドルベースの各指数を委託者が円換算しております。

- ・すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

当該投資信託の組入資産の内容

(2021年12月20日現在)

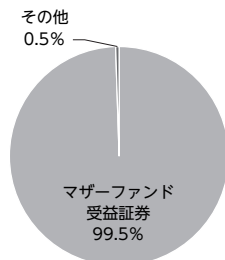
■組入ファンド

(組入銘柄数：1銘柄)

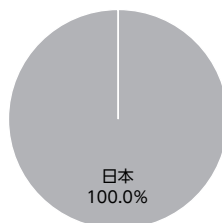
| ファンド名 | 第46期末 2021年12月20日 |
|------------------------|----------------------|
| ピクテ・ヨーロッパ・オープン・マザーファンド | 99.5% |

・比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

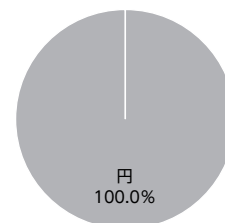
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



・比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

純資産等

| 項目 | 第46期末 2021年12月20日 |
|------------|----------------------|
| 純資産総額 | 720,166,247円 |
| 受益権総口数 | 513,364,852口 |
| 1万口当たり基準価額 | 14,028円 |

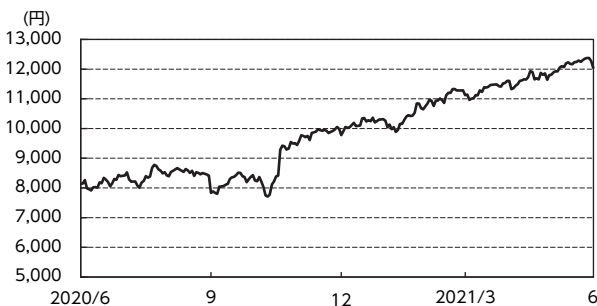
・当期中における追加設定元本額は4,693,547円、同解約元本額は167,840,799円です。

組入上位ファンドの概要

ピクテ・ヨーロピアン・オープン・マザーファンド

(2021年6月21日現在)

■基準価額の推移



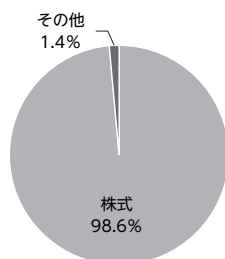
■組入上位10銘柄

(組入銘柄数：36銘柄)

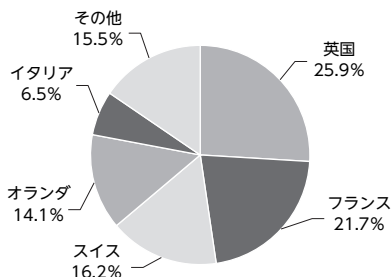
| | 銘柄 | 比率 |
|----|----------------|------|
| 1 | ネスレ | 6.5% |
| 2 | ASMLホールディング | 4.2% |
| 3 | インフォーマ | 3.8% |
| 4 | フィナンシエール・リシュモン | 3.7% |
| 5 | ロイヤル・ダッチ・シェル | 3.6% |
| 6 | SAP | 3.5% |
| 7 | ジュリアス・ベア・グループ | 3.4% |
| 8 | プロサス | 3.4% |
| 9 | グラクソ・スミスクライン | 3.4% |
| 10 | エシロールルックスオティカ | 3.2% |

- ・比率は当組入ファンドの純資産総額に対する割合です。
- ・全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

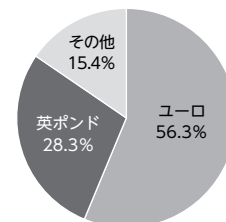
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



- ・資産別配分の比率は当組入ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分および通貨別配分の比率は当組入ファンドの組入有価証券の評価額合計に対する割合です。

■1万口当たりの費用明細

| 項目 | 当期 |
|---|-------------------------|
| (a) 売買委託手数料 (株 式) (新株予約権証券) (投資信託証券) | 2円 (2) (0) (0) |
| (b) 有価証券取引税 (株 式) | 4 (4) |
| (c) その他費用 (保管費用) (その他) | 14 (14) (1) |
| 合計 | 20 |

- ・左記の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、設定・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。なお、費用項目については2ページ（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。
- ・(a) 売買委託手数料、(b) 有価証券取引税および(c) その他費用は、当期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。
- ・円未満は四捨五入しています。

- ・基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は当組入ファンドの直近の計算期間のものです。

指数に関して

○「代表的な資産クラスと騰落率の比較」に用いた指数について

■東証株価指数（TOPIX）（配当込み）：

東証株価指数（TOPIX）は、東京証券取引所第一部に上場している内国普通株式全銘柄を対象とし、浮動株ベースの時価総額加重型で算出された指数で、同指数に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社東京証券取引所（以下「東証」といいます。）に帰属します。東証は、同指数の指数値およびそこに含まれるデータの正確性、完全性を保証するものではありません。東証は同指数の算出もしくは公表方法の変更、同指数の算出もしくは公表の停止または同指数の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

■MSCIコクサイ指数（税引前配当込み）：

MSCIコクサイ指数は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

■MSCIエマージング・マーケット指数（税引前配当込み）：

MSCIエマージング・マーケット指数は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

■NOMURA－BPI国債：

NOMURA－BPI国債は、野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。同指数の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属しています。また同社は同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、当ファンドの運用成果に関して一切責任を負いません。

■FTSE世界国債指数（除く日本）：

FTSE世界国債指数（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券指数です。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

■JPモルガンGBI－EMグローバル・ディバーシファイド：

JPモルガンGBI－EMグローバル・ディバーシファイドは、J.P.Morgan Securities LLCが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的な指数です。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。同指数の著作権はJ.P.Morgan Securities LLCに帰属します。